

研修報告

令和7年11月18日

10:00 ~ 11:30 久間壽紀

研修先、衆議院第2会館会議室にて

厚生労働省政策統括官付政策統括官
政策第一班 白崎仁氏

日本の社会保障政策について

1. 厚生労働省よりの説明

- ・急速に人口構造の変化
- ・医療介護、年金財政の確保
- ・子育て支援策の強化等

2. 必要に支援を維持する為には、地域との連携、データ分析が不可欠
- ・少子化対策は、妊娠期からの切れ目のない
か国の方向性である

3. ハナ市

- ・子育て支援は、妊娠、出産、子育ての支援を
市として、小川や市、市民に提示
- ・高齢者、障害者生活困難には地域支援体制
を、各地区で点検する

令和7年11月18日

13:00~14:30
 総務省 地域力創造グループ会議 対策室
 企画係長 内山 弾氏

進捗遅延化、人口減少についての取組み

- ・遅延法に基づき、財政措置（遅延債、特別交付税措置）
- ・デマンド型交通の導入
- ・移住・定住支援の強化
- ・農林業の振興と地域ブランド化

ハセへの活用

地域運営組織の育成と役割の明確化は、
 かんたんには進まない。

人々が安らかに住めるハセにする為に
 市がどうしなければいけないか考えさせられた

- ・ハセ茶をはじめとする農林資源のブランド化
 は、観光と結びつけ、経済の発展を
 強化すべきと感じた

11月19日
和歌山県東京観光セミナー
相談員、田邊幸紀氏

東京交迎会館内

- ・ 県内各市町村の観光パンフレット、冊子の提供
- ・ カウンターでの個別対応
- ・ 和歌山の全域をカバーした情報発信
- ・ 首都圏からのモデルコース 案内案内
- ・ イベント、キャンペーンの案内

・ ここでは、物販に頼る観光案内、一本で、
成り立っていた。

- ・ ハヤ市の経費はかかるとは思っていたが、県と
連携して、市のPRが「必要」と感じた

マニテナショップ「が、博多」

- ・ 宿務県の食品、加工品、酒類、菓子等
幅広い高品を取り扱う、県公式のマニテナショップ
(主に物販中心)

・ 観光案内も、定住、移住のパンフレットは、
片隅においてあるだけ

- ・ ハヤ市をPRできる場ではあるか
自らの任職が必要